

## 登山道区間ごとの施設整備・維持管理シート(ビジョン別添)(最終案)

## 1. 意見照会の反映

登山道区間ごとの施設整備・維持管理シート(案)(以下「区間シート(案)」という。)については、令和2年度中に2回の意見照会を行った結果、現状や留意点及び課題についてご意見をいただき、それぞれの区間シート(案)へ反映したところである。

また、昨年度中までは区間シート(案)の各項目の記載について、黒字(5~10年後の目標)、青字(現状)、赤字(課題、留意点)としていたが、より課題を明確にし、区間シート完成に向けた議論が進むよう、また、今後の活用でわかりやすくするために記載内容は以下のように改めた。

## 【記載凡例】

一般事項：屋久島の山の文化に対する配慮や想定される利用者、登山装備などの一般的な事項

・目標：該当区間利用者に感じてほしい体験ランクに応じたもの(5~10年後の目標)

◎現状：該当区間の状態(策定時の状態)

★留意点：再整備する際に注意を払うこと

※課題：現在や今後整理すべき課題

## 2. 取りまとめに向けた優先順位付

区間ごとの課題は、本検討会終了後も引き続き整備や管理に携わる関係者等の協議を踏まえて固めていくことを予定している。前回検討会では、各区間が有する検討事項や、今後検討する上での優先順位を付けるために課題がない区間、他区間と共通の課題が残った区間、課題解消までさらに議論を要する区間の3グループに分けて提示したところ、管理者不在であることや、携帯トイレ回収 box やテント場について意見をいただいた。いただいた意見を踏まえて、管理者不在と携帯トイレ回収 box については、課題として改めて整理した。また、テント場について課題として残ってはいるが、利用体験ランク4または5に属する区間であれば、体験ランクに応じた、そもそもの必要性の検討から課題ではなく留意点として記載することとし、表3にまとめた。この考えについて、大方の合意を得たいと考えている。

## 【取りまとめに向けた優先順位付け】

A：懸念すべき課題(歩道管理者不在、携帯トイレ回収 Box の仕組み)がない区間

B：懸念すべき課題(歩道管理者不在、携帯トイレ回収 Box の仕組み)又は留意点(宿泊場所整備)が残る区間

C：議論に時間を要する課題(トイレやトロッコ道)が残る区間

表3 区間シート取りまとめに向けた優先順位

区間水準	区間番号	対象区間の経路	シート策定の優先順位	残っている課題	歩道管理者の有無
5	4-4	永田岳～焼野三叉路	A		○
1	7-1①	ヤクスギランド入口～仏陀杉～ヤクスギランド入口（主な利用者は30分・50分コース利用者）	A		○
2	7-1②	荒川橋～つつじ河原～仏陀杉（主な利用者は80分コース利用者）	A		○
2	7-1③	荒川橋分岐～天文の森～つつじ河原（主な利用者は150分コース利用者）	A		○
4	8-4①	黒味分れ～焼野三叉路	A		○
3	8-4②	花之江河～黒味分れ	A		○
3	8-5	淀川登山口～花之江河	A		○
3	8-6	黒味分れ～黒味岳	A		○
4	12-2	蛇之口滝入口～淀川登山口	A		○
4	1	登山口（龍神杉）～龍神杉	B	携帯トイレ回収Box	○
4	2	登山口（愛子岳）～愛子岳山頂	B	歩道管理者不在 携帯トイレ回収Box	×
2	3-1②	さつき吊り橋付近の分岐～奉行杉～二代くぐり杉付近の分岐（主な利用者は奉行杉コース利用者）	B	携帯トイレ回収Box	○
4	3-2	辻峠～楠川分れ	A→B	歩道管理者不在	×
4	3-3	白谷雲水峡入口～楠川歩道入口	B	歩道管理者不在 携帯トイレ回収Box	×
5	4-1	永田歩道入口～竹の辻	B	一部歩道管理者不在 携帯トイレ回収Box	一部×
3	6-1	登山道入口（ヤクスギランド）～大和杉	A→B	歩道管理者不在	×
5	9	旧栗生歩道入口～花之江河	B	一部歩道管理者不在 携帯トイレ回収Box	一部×
5	10	登山口（湯泊）～花之江河	B	歩道管理者不在 携帯トイレ回収Box	×
3	11	登山口（モッコヨム）～モッコヨム岳山頂	B	歩道管理者不在	×
3	12-1	登山口（尾の間）～蛇之口滝	B	携帯トイレ回収Box	○
1	3-1①	白谷雲水峡入口～弥生杉～さつき吊り橋～白谷雲水峡入口（主な利用者は弥生杉コース利用者）	C	トイレ	○
2	3-1③	白谷雲水峡入口～辻峠～太鼓岩（主な利用者は太鼓岩往復コース利用者）	C	トイレ	○
5	4-2	竹の辻～鹿之沢小屋	C	トイレ	○
5	4-3	鹿之沢小屋～永田岳	C	トイレ	○
5	5	花山歩道入口～鹿之沢小屋	C	トイレ 歩道管理者不在	×
5	6-2	大和杉～花之江河	C	トイレ 一部歩道管理者不在	一部×
3	7-2	天文の森～太忠岳	C	トイレ	○
2	8-1	荒川登山口～大株歩道入口	C	トイレ、トロッコ道	○
3	8-2	大株歩道入口～高塚小屋	C	トイレ	○
4	8-3	高塚小屋～焼野三叉路	C	トイレ	○

A：懸念すべき課題（歩道管理者不在、携帯トイレ回収Boxの仕組み）がない区間

B：懸念すべき課題（歩道管理者不在、携帯トイレ回収Boxの仕組み）又は留意点（宿泊場所整備）が残る区間

C：議論に時間を要する課題（トイレやトロッコ道）が残る区間

本ページ以降がビジョン（別添）への記載最終案となる。

## 1. 作成目的、今後の取り扱い

施設整備や維持管理、利用者管理、モニタリング等を実施する場合には、対象となる登山道の具体的な情報が必要になる。このため、それぞれの区間について、施設状況（路面・木道整備、橋・渡渉点の対応、トイレ・携帯トイレブースの設置など）、管理状況（標識、ルート規制、危険木の処理など）についてより具体的に記載した資料として「登山道区間ごとの施設整備・維持管理シート（案）」を作成し、本検討会で取りまとめているところである。最終的には、屋久島山岳部適正ビジョンの「7. 施設の整備と維持管理」を補完する巻末参考資料とする。なお、本資料は、主に登山道等管理者が使用することを想定している。

## 2. 管理と見直し

登山道ごとの整備状況について、ビジョンの管理目標に基づいたモニタリングを行い、目標の達成状況进行评估し、必要であれば管理内容の見直しを行うこととする。また、登山道区間ごとの施設整備・維持管理シート全体の見直しについては、おおむね 10 年毎に内容の評価、継続、見直しについて検討を行う。なお、モニタリング内容は未定項目が多数を占めているので、既存会議等で数年以内の策定を目指す。

### 【管理目標】（※ビジョンのモニタリングに掲載）

- I 利用体験ランクごとの利用者層
- II 利用に伴うリスクが把握されていること
- III 原生性に対する満足度が維持されていること
- IV 自然環境のイメージを損なわない施設設置や管理及び、ランクごとの安全に配慮された施設設置や管理がされていること

表1 施設整備・維持管理の水準を設定した対象区間

※令和元年度第4回検討会で合意(2020/01/13)

区間番号	対象区間の経路
1	登山口（龍神杉）～龍神杉
2	登山口（愛子岳）～愛子岳山頂
3-1①	白谷雲水峡入口～弥生杉～さつき吊り橋～白谷雲水峡入口（主な利用者は弥生杉コース利用者）
3-1②	さつき吊り橋付近の分岐～奉行杉～二代くぐり杉付近の分岐（主な利用者は奉行杉コース利用者）
3-1③	白谷雲水峡入口～辻峠～太鼓岩（主な利用者は太鼓岩往復コース利用者）
3-2	辻峠～楠川分れ
3-3	白谷雲水峡入口～楠川歩道入口
4-1	永田歩道入口～竹の辻
4-2	竹の辻～鹿之沢小屋
4-3	鹿之沢小屋～永田岳
4-4	永田岳～焼野三叉路
5	花山歩道入口～鹿之沢小屋
6-1	登山道入口（ヤクスギランド）～大和杉
6-2	大和杉～花之江河
7-1①	ヤクスギランド入口～仏陀杉～ヤクスギランド入口（主な利用者は30分・50分コース利用者）
7-1②	荒川橋～つつじ河原～仏陀杉（主な利用者は80分コース利用者）
7-1③	荒川橋分岐～天文の森～つつじ河原（主な利用者は150分・210分コース利用者）
7-2	天文の森～太忠岳
8-1	荒川登山口～大株歩道入口
8-2	大株歩道入口～高塚小屋
8-3	高塚小屋～焼野三叉路
8-4①	黒味分れ～焼野三叉路
8-4②	花之江河～黒味分れ
8-5	淀川登山口～花之江河
8-6	黒味分れ～黒味岳
9	旧栗生歩道入口～花之江河
10	登山口（湯泊）～花之江河
11	登山口（モッチョム）～モッチョム岳山頂
12-1	登山口（尾之間）～蛇之口滝
12-2	蛇之口滝入口～淀川登山口

表2 あるべき利用体験ランクと施設整備・維持管理の水準(各区分ごと)の対比

※令和元年度第4回検討会で合意(2020/01/13)

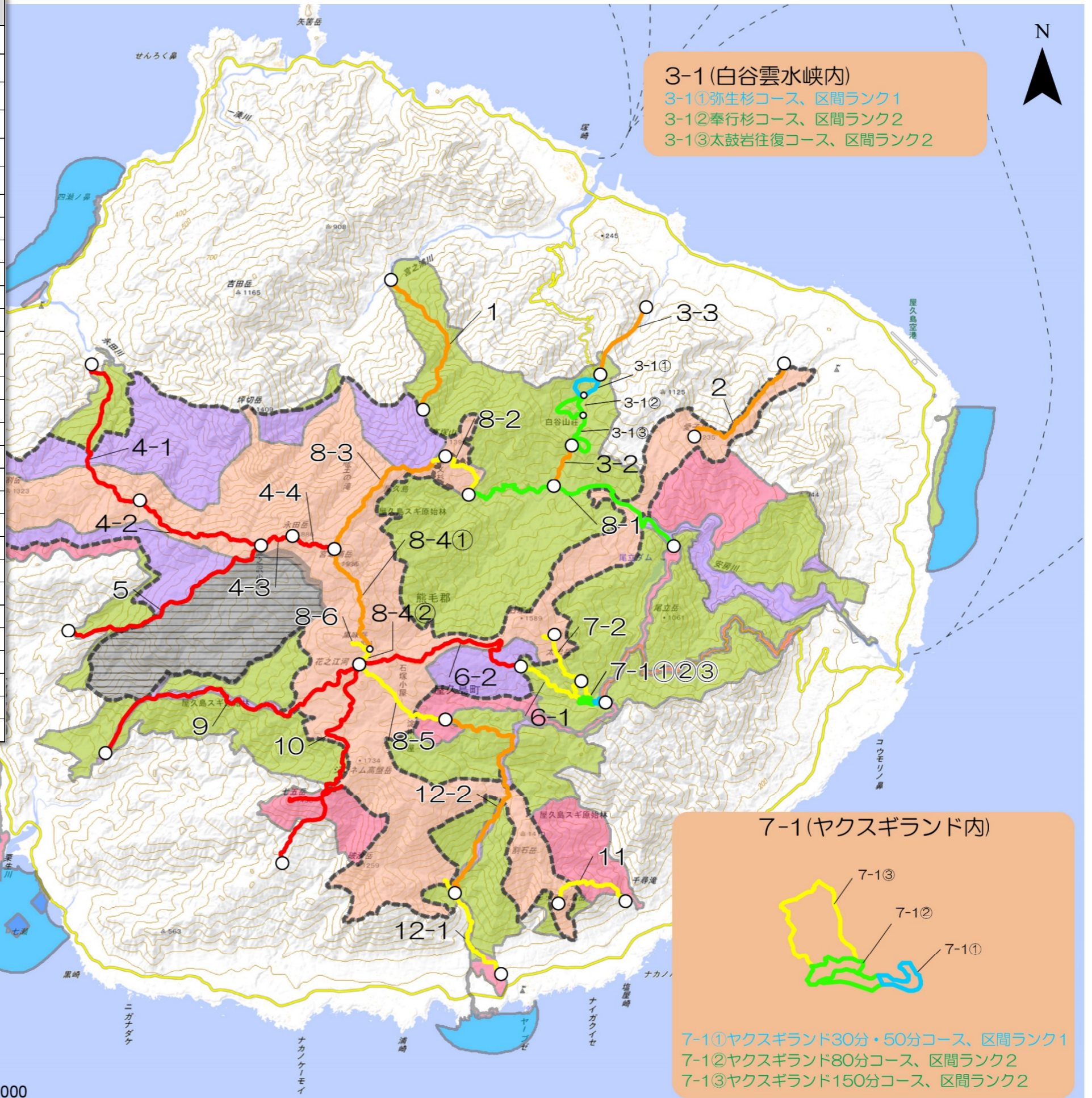
区分番号	区分経路	あるべき利用体験ランク					施設整備・維持管理の水準	区分ごとの水準決定の有無	備考
		ランク 1	ランク 2	ランク 3	ランク 4	ランク 5			
1	登山口(龍神杉)～龍神杉				4		4	○	
2	登山口(愛子岳)～愛子岳山頂				4		4	○	
3-1①	白谷雲水峡入口～弥生杉～さつき吊り橋～白谷雲水峡入口(主な利用者は弥生杉コース利用者)	1	2	3	4		1		
3-1②	さつき吊り橋付近の分岐～奉行杉～二代くぐり杉付近の分岐(主な利用者は奉行杉コース利用者)		2	3	4		2		
3-1③	白谷雲水峡入口～辻峠～太鼓岩(主な利用者は太鼓岩往復コース利用者)		2	3	4		2		
3-2	辻峠～楠川分れ				4		4	○	
3-3	白谷雲水峡入口～楠川歩道入口				4		4	○	
4-1	永田歩道入口～竹の辻					5	5	○	
4-2	竹の辻～鹿之沢小屋					5	5	○	
4-3	鹿之沢小屋～永田岳					5	5	○	
4-4	永田岳～焼野三叉路					5	5	○	
5	花山歩道入口～鹿之沢小屋					5	5	○	
6-1	登山道入口(ヤクスギランド)～大和杉			3		5	3		
6-2	大和杉～花之江河					5	5		
7-1①	ヤクスギランド入口～仏陀杉～ヤクスギランド入口(主な利用者は30分・50分コース利用者)	1	2	3		5	1		
7-1②	荒川橋～つつじ河原～仏陀杉(主な利用者は80分コース利用者)		2	3		5	2		
7-1③	荒川橋分岐～天文の森～つつじ河原(主な利用者は150分・210分コース利用者)		2	3		5	2		
7-2	天文の森～太忠岳			3			3		
8-1	荒川登山口～大株歩道入口			3	4		2	○	※1
8-2	大株歩道入口～高塚小屋			3	4		3	○	
8-3	高塚小屋～焼野三叉路				4		4	○	※2
8-4①	黒味分れ～焼野三叉路				4	5	4	○	
8-4②	花之江河～黒味分れ			3	4	5	3	○	
8-5	淀川登山口～花之江河			3	4	5	3	○	
8-6	黒味分れ～黒味岳			3			3	○	
9	旧栗生歩道入口～花之江河					5	5	○	
10	登山口(湯泊)～花之江河					5	5	○	
11	登山口(モッコヨム)～モッコヨム岳山頂			3			3	○	
12-1	登山口(尾之間)～蛇之口滝			3	4		3		
12-2	蛇之口滝入口～淀川登山口				4		4	○	

## 【備考の説明】

※1：あるべき利用体験ランク設定時に、ルート全体としては「3以上」であるが、施設整備・維持管理水準は「2」が望ましいとした。

※2：ルート全体としてのあるべき利用体験ランクは「4」であるが、高塚避難小屋付帯のと新高塚小屋付帯の汲み取り式トイレは必要に応じて補修しながら継続使用するが、将来的な環境改善の議論を深める。新高塚小屋付帯の自己処理型トイレは必要に応じて改築及び補修しながら可能な限り継続使用する。

区間ごとの施設整備・維持管理水準	区間No.	路線名	区間経路	
1	3-1①	白谷雲水峡	白谷雲水峡入口～弥生杉～さつき吊り橋～白谷雲水峡入口 (主な利用者は弥生杉コース利用者)	
	7-1①	ヤクスギランド	ヤクスギランド入口～仏陀杉～ヤクスギランド入口 (主な利用者は30分・50分コース利用者)	
2	3-1②	白谷雲水峡	さつき吊り橋付近の分岐～奉行杉～二代ぐり杉付近の分岐 (主な利用者は奉行杉コース利用者)	
	3-1③	白谷雲水峡	白谷雲水峡入口～辻峠～太鼓岩 (主な利用者は太鼓岩往復コース利用者)	
	7-1②	ヤクスギランド	荒川橋～つつじ河原～仏陀杉 (主な利用者は80分コース利用者)	
	7-1③	ヤクスギランド	荒川橋分岐～天文の森～つつじ河原 (主な利用者は150分・210分コース利用者)	
3	8-1	縄文杉線	荒川登山口～大株歩道入口	
	6-1	花之江河ヤクスギランド線	登山道入口(ヤクスギランド)～大和杉	
	7-2	太忠岳線	天文の森～太忠岳	
	8-2	縄文杉線	大株歩道入口～高塚小屋	
	8-4②	宮之浦線	花之江河～黒味分れ	
	8-5	宮之浦線	淀川登山口～花之江河	
	8-6	宮之浦線	黒味分れ～黒味岳	
	11	モッコヨム岳線	登山口～モッコヨム岳山頂	
	12-1	尾之間線	登山口～蛇之口滝	
	4	1	龍神杉線	登山口～龍神杉
		2	愛子岳線	登山口～愛子岳山頂
3-2		楠川線	辻峠～楠川分れ	
3-3		白谷雲水峡	白谷雲水峡入口～楠川歩道入口	
8-3		宮之浦線	高塚小屋～焼野三叉路	
8-4①		宮之浦線	黒味分れ～焼野三叉路	
12-2		尾之間線	蛇之口滝入口～淀川登山口	
5		4-1	永田線	永田歩道入口～竹の辻
		4-2	永田線	竹の辻～鹿之沢小屋
		4-3	永田線	鹿之沢小屋～永田岳
	4-4	永田線	永田岳～焼野三叉路	
	5	花山線	花山歩道入口～鹿之沢小屋	
	6-2	花之江河ヤクスギランド線	大和杉～花之江河	
	9	栗生線	旧栗生歩道入口～花之江河	
	10	湯泊線	登山口～花之江河	



**3-1(白谷雲水峡内)**  
 3-1①弥生杉コース、区間ランク1  
 3-1②奉行杉コース、区間ランク2  
 3-1③太鼓岩往復コース、区間ランク2

**7-1(ヤクスギランド内)**  
 7-1①ヤクスギランド30分・50分コース、区間ランク1  
 7-1②ヤクスギランド80分コース、区間ランク2  
 7-1③ヤクスギランド150分コース、区間ランク2

区間ごとの施設整備・管理ランク(案)

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

屋久島世界自然遺産地域  
 屋久島原生自然環境保全地域  
 屋久島国立公園地種区分  
 特別保護地区  
 第1種特別地域  
 第2種特別地域  
 第3種特別地域  
 海域公園地区  
 普通地域

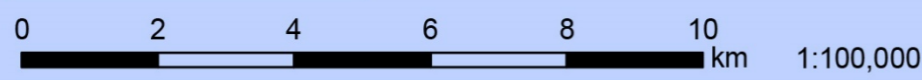


図1 登山道区間ごとの施設整備・維持管理水準

施設整備・維持管理シート（30区間）は  
参考資料3と同じ